

品質カレッジ

# 助成金活用ガイド

製造業の品質教育費用を最大75%圧縮

---

2026年版

中小製造業の経営者・教育担当者向け

Qulio合同会社 | 品質カレッジ

<https://sangyo-tech.jp>

# 目次

- ・ 1. なぜ今、品質教育費用を抑える必要があるのか
- ・ 2. 製造業が使える主要な4つの助成金
- ・ 3. 規模別・シミュレーション（10名／30名／100名）
- ・ 4. 申請の5ステップ
- ・ 5. 「品質カレッジ」が助成金活用に向く5つの理由
- ・ 6. よくある質問
- ・ 7. お申込み・ご相談窓口

# 1. なぜ今、品質教育費用を抑える必要があるのか

ISO 9001やIATF 16949、GMP、HACCPなど、製造業の品質マネジメントシステム（QMS）の運用は、年々高度化しています。一方で、教育訓練にかけられる時間と予算は限られており、多くの企業で「形だけのOJT」「年1回の集合研修」といった、効果が見えにくい運用が続いています。

本ガイドでは、製造業の品質教育に活用できる主要な助成金を整理し、e-learning「品質カレッジ」を組み合わせることで、実質負担を最大75%まで圧縮する具体的な方法をご紹介します。

## 品質教育を取り巻く3つの課題

### ① ベテラン依存

OJTがベテラン1~2名に集中し、辞めると一気に教育水準が落ちる

### ② 監査対応の負荷

ISO/監査では「教育訓練の記録」が必須だが、記録作成に時間がかかる

### ③ コスト圧迫

外部研修1日3~5万円/人。10名で年間100万円超のケースも

これらの課題を解消するには、「教育を仕組み化」し、その費用を「助成金で軽減」する2つの軸が有効です。

## 2. 製造業が使える主要な4つの助成金

製造業の品質教育に活用しやすい主要助成金を4つ紹介します。助成率・上限額は年度や事業規模により変動するため、必ず最新の公式情報・最寄りの労働局にご確認ください。

### 2-1. 人材開発支援助成金（人材育成支援コース）

正社員等への職務関連の教育訓練（OFF-JT・OJT）に対して、経費の一部と訓練中の賃金を助成する制度です。e-learningも対象となり、品質カレッジのような実務直結のオンライン研修と相性が良いコースです。

項目	中小企業の目安
経費助成率	訓練経費の最大75%
賃金助成	1人1時間あたり 約760～960円
訓練時間	原則10時間以上
対象訓練	OFF-JT（外部講座／e-learning含む）
対象者	雇用保険被保険者（正社員等）

活用例：品質カレッジを「ISO9001 内部監査員養成コース」として10時間以上計画的に受講させ、OFF-JTとして申請。受講料・登録料の最大75%+訓練時間の賃金の一部が助成対象に。

## 2-2. 人材開発支援助成金（人への投資促進コース）

デジタル人材育成や、高度なリスクリングを目的とした訓練に対する、助成率の高いコースです。IoT・DX・データ分析・品質工学（タグチメソッド等）の高度な教育内容が対象となります。

項目	中小企業の目安
経費助成率	最大75%（一部コース）
対象訓練	デジタル人材育成・高度な専門スキル等
特徴	OFF-JTのみで申請可能（OJT必須ではない）
想定受講者	製造DX、品質工学、IoT監視等を学ぶ人材

## 2-3. 人材開発支援助成金（事業展開等リスクリング支援コース）

新規事業展開や業務改革に伴うリスクリング訓練に対する高助成コース。製造業では「新規製品ライン立ち上げ」「医療機器GMPへの参入」など、新領域の品質教育に活用できます。

項目	中小企業の目安
経費助成率	最大75%
対象	新事業／新分野に向けた人材育成
対象訓練	OFF-JT（10時間以上）

## 2-4. キャリアアップ助成金

有期雇用労働者（パート・契約社員等）を正社員化したり、待遇改善した場合に支給される助成金です。正社員化と同時に品質教育を計画的に行うケースで、人材開発支援助成金と組み合わせやすい制度です。

項目	中小企業の目安
正社員化コース	1人あたり 約57万円（中小企業）
対象	有期 → 正社員 への転換
組み合わせ	人材開発支援助成金との併用が可能なケースあり

注：助成金の制度は年度・地域・事業規模・労使協定の有無等により条件が異なります。実際の申請にあたっては、最寄りの労働局・ハローワーク・社会保険労務士にご相談ください。

### 3. 規模別・実質負担シミュレーション

品質カレッジ（月額3,300円／人）を1年間運用し、人材開発支援助成金（経費助成率最大75%）を活用した場合の実質負担額の目安です。実際の助成額は審査・受講実績・申請内容によって変動します。

企業規模	受講者数	年間費用	助成金活用後の実質負担
小規模	10名	約 39.6万円	約 9.9万円（75%圧縮）
中規模	30名	約118.8万円	約29.7万円（75%圧縮）
大規模	100名	約396.0万円	約99.0万円（75%圧縮）

外部研修（1日3万円×5回×参加者）と比較すると：

人数	外部研修1年（5日間/年）	品質カレッジ+助成金活用
10名	約150万円	約 10万円（▲93%）
30名	約450万円	約 30万円（▲93%）
100名	約1500万円	約 99万円（▲93%）

## 4. 助成金申請の5ステップ

### STEP 1 | 訓練計画届を提出

訓練開始日の1か月前までに、管轄の労働局へ訓練計画届を提出します。品質カレッジは「e-learningによるOFF-JT」として記載できます。

### STEP 2 | 訓練を実施

計画通りに受講・受講記録を残します。品質カレッジは進捗・受講時間・確認テスト結果を自動記録します。

### STEP 3 | 受講者に確認テスト

コース修了時に確認テストを実施し、理解度を可視化します。

### STEP 4 | 受講証明・受講記録の出力

受講記録・受講証明書をPDFで出力できます。

### STEP 5 | 支給申請

訓練終了後2か月以内に、管轄の労働局へ支給申請書類を提出します。

※ 申請書類の作成は煩雑なため、社会保険労務士のサポートを受けるのが一般的です。品質カレッジでは、訓練計画書・受講記録のテンプレートを無償でご提供しています。

## 5. 「品質カレッジ」が助成金活用に向く5つの理由

### ① 訓練時間が明確に記録される

受講者ごとの受講時間・進捗・確認テスト結果が自動的に記録されるため、助成金申請の「訓練記録」として活用できます。

### ② 訓練計画書のテンプレート提供

労働局に提出する訓練計画届のサンプルを無償で提供しています。

### ③ 1本5分の動画で学習計画を組みやすい

10時間以上のOFF-JTを満たすため、動画本数・カテゴリ別の組み合わせ例をご提案できます。

### ④ 月額3,300円／人で、外部研修より圧倒的に低コスト

助成率75%と組み合わせると、実質負担は月825円／人。

### ⑤ ISO/IATF/GMP/HACCPの監査記録に対応

受講証明書のPDF出力により、ISO9001 7.2「力量」要求への対応根拠として使えます。

## 6. よくある質問（FAQ）

### Q1. どの助成金が自社に向きますか？

A. 「正社員の品質教育を強化したい」なら人材育成支援コース、「DX・データ分析等を学ばせたい」なら人への投資促進コース、「新規事業のための教育」なら事業展開等リスクリング支援コースが向きます。

### Q2. 助成金の申請手続きは難しいですか？

A. 初回は煩雑ですが、社労士のサポートを受ければ問題ありません。品質カレッジは訓練計画書のテンプレートと、受講記録の自動出力でサポートします。

### Q3. 助成金はいつ振り込まれますか？

A. 一般に、訓練終了後の支給申請から半年～10か月程度で振り込まれます。資金繰りの計画に余裕をもってください。

### Q4. 個人事業主でも助成金は使えますか？

A. 多くは「雇用保険適用事業所」が対象のため、個人事業主単独では使えないケースがあります。最寄りの労働局にご確認ください。

### Q5. 受講者が途中で退職したらどうなりますか？

A. コース修了前に退職した場合、対象から外れることがあります。年度途中の退職リスクも踏まえて受講者を選定してください。

### Q6. 品質カレッジの料金は？

A. 月額3,300円／人、初期費用は0円です。10名で月33,000円、年間39.6万円。助成金活用で実質1/4まで圧縮可能です。

## 7. お申込み・ご相談窓口

まずは、無料体験で品質カレッジの中身をご覧ください。

お申込み・お問い合わせ	<a href="https://apply.sangyo-tech.jp">https://apply.sangyo-tech.jp</a>
無料体験コース	<a href="https://trial.sangyo-tech.jp">https://trial.sangyo-tech.jp</a>
サービス詳細	<a href="https://sangyo-tech.jp">https://sangyo-tech.jp</a>
料金プラン	<a href="https://pricing.sangyo-tech.jp">https://pricing.sangyo-tech.jp</a>
受講可能コース	<a href="https://course.sangyo-tech.jp">https://course.sangyo-tech.jp</a>

助成金申請の不安や、自社の状況に合うコース選定について、品質カレッジの担当者が個別にご相談を承ります。上記の「お申込み・お問い合わせ」フォームからお気軽にご連絡ください。

免責：本ガイドに記載した助成率・上限額・要件は、執筆時点の制度を簡略化して記載したものです。実際の制度内容は厚生労働省の公式情報、最寄りの労働局、社労士のご案内をご確認ください。

発行：Qulio合同会社（品質カレッジ運営） | 本書の無断複製を禁じます。